

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」研究奨励事業

## 令和4年度「絹ラボ」の研究助成対象者が決定しました

「絹ラボ」は、世界遺産の価値を次世代につなぎ、若手研究者を育成することを目的に、研究費用を助成する事業です。令和2年度から実施しており、今年度は、14件の応募のうち11件を採択しました。

今後は、それぞれが研究を行い、来年2月に報告会で研究の成果を発表する予定です。

### ○「絹ラボ」研究助成対象者

学生 (団体)	四ツ葉学園地域歴史研究会（四ツ葉学園中等教育学校）	伊勢崎銘仙を新たな時代で活用するための提案
	絹文化！お国ことば調査プロジェクト（群馬県立女子大学）	高山社従業員の派遣と方言分布
	日本大学商学部 木下征彦ゼミ	富岡シルクブランドの可能性 ～地域資源である「シルク（絹）」の活用による地域ブランディングの実現を目指して～
	共愛学園前橋国際大学 岡井宏文ゼミ	想いから未来織り成す桐生織～魅力発信のための質的調査研究～
一般 (個人)	笠原実（富岡製糸場世界遺産伝道師協会）	徳江製糸場の研究（Ⅱ）～製糸場経営の拡大から終焉まで～
	飯塚聡（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団）	近代群馬の蚕種貯蔵風穴の設営とその特質について～北毛の各風穴に見る中央との交流と在地との結び付き～
	川又彩夏（高崎商科大学職員）	富岡製糸場に勤めた女性たちのライフヒストリー～昭和期の「あたりまえ」の書き残し～
一般 (団体)	佐々木長淳研究会	内務省初期養蚕政策と佐々木長淳～県内外養蚕飼育法に与えた影響についての考察～
	さいたま絹文化研究会	第1回宮中ご養蚕～田島武平と島村の女性たち（飯島曾野の日記から読み解く）
	前橋絹文化研究会	前橋の礎・製糸業の記憶
	伊勢崎銘仙の記憶を紡ぐ会	伊勢崎銘仙「娘三人いれば蔵が建つ」は本当か？

<区分ごとの件数>

学生の部 団体：高校1件、大学3件

一般の部 個人：3件、団体：4件

※11件中、3件が県外からの応募

### ○主催

シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会

（群馬県、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、上毛新聞社）